



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

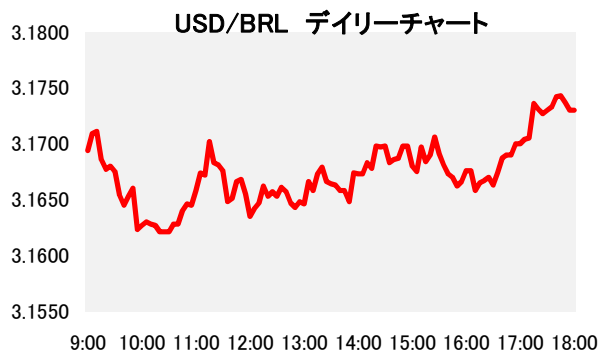
1. マーケット・レート

			10月5日	10月6日	10月9日	10月10日	10月11日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1540	3.1560	3.1880	3.1800	3.1730	-0.0070
	BRL/JPY	Spot	35.79	35.70	35.34	35.36	35.44	+0.08
	EUR/USD	Spot	1.1711	1.1731	1.1740	1.1810	1.1862	+0.0052
	USD/JPY	Spot	112.83	112.65	112.67	112.44	112.43	-0.01
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.143	7.133	7.139	7.108	7.085	-0.023
	Future	1Year(p.a.)	7.183	7.192	7.208	7.314	7.146	-0.169
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.277	2.269	2.220	2.193	2.229	+0.036
	USD	1Year(p.a.)	2.375	2.409	2.360	2.348	2.390	+0.042
株式	Bovespa指数	76,617.53	76,054.75	75,726.81	76,897.19	76,659.81	-237.38	
CDS	CDS Brazil 5y	184.88	185.65	186.45	186.78	184.44	-2.34	
商品	CRB指数	182.943	180.955	180.956	183.196	183.496	+0.30	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

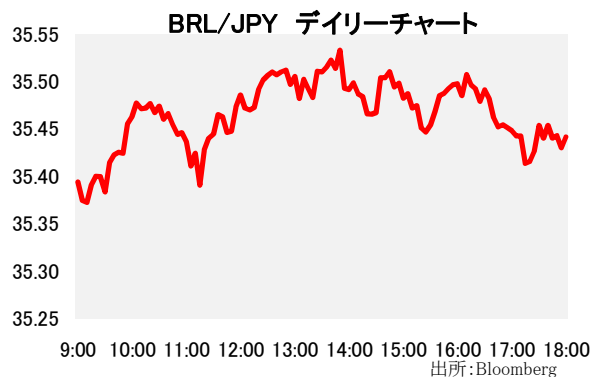
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.08%	0.10%	-0.02%
IGP-M Inflation 1st Preview	0.44%	0.32%	0.34%
小売売上高(前月比)	0.10%	-0.50%	0.00%
小売売上高(前年比)	4.40%	3.60%	3.10%
広義小売売上高(前月比)	0.50%	0.10%	0.10%
広義小売売上高(前年比)	8.50%	7.60%	5.60%



3. 要人コメント

ウィリアムズ サンフランシスコ 連銀総裁	バランスシートの適切な規模については依然として未解決の問題だ。
----------------------------	---------------------------------



4. トピックス

- 本日のリアルは3.1790で寄り付いた。米FOMC議事録を控えてドル売りが進む中、リアルは直ぐさま日中高値となる3.1620まで上昇。その後、正午を挟んで同水準で小幅に推移したが、米FOMC議事録の内容について市場でハト派との見方を強めたことでドルは続落した。しかし、引けにかけてリアルは大口の資金流出の噂が聞かれ、3.17台半ばまで反落。結局3.1730でクローズした。
- 米FOMCの議事録では年内の再利上げは正当化されると多くの当局者が判断した一方、最近の低いインフレ指標について多くの参加者が一過性の要因だけではないと懸念を表明。ドルが続落したほか、米主要株式市場は最高値を更新した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。